



## 砂丘の女王“スカシユリ”開花。

この貴重な環境を守るために。

**オオウメガサソウ保全シンポジウム開催 7/23(土)**



2011年7月20日撮影

国営ひたち海浜公園の砂丘エリアで“スカシユリ”が咲いています。

スカシユリは、かつては砂浜に群生し、オレンジ色の花が彩る浜の景観は、この周辺の夏の風物詩ともいえるものでした。しかし近年は、開発による自然環境の変化や、その花の美しさから盗掘をされことも影響して、数が激減してきました。

当公園では、残った株を保護するとともに、スカシユリが群生する砂丘の風景を取り戻すため、圃場(ほじょう)で育てた球根を、公園ボランティア「野生植物パートナー」や来園者の方々の協力を得て、砂丘エリアに植えています。

砂丘に鮮やかなオレンジ色の花を咲かせるスカシユリは、「砂丘の女王」といった風情です。7月24日(日)には、スカシユリをはじめ、貴重な海浜植物の観察会も開催致しますので、取材・掲載のご協力をお願い申し上げます。

### お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報宣伝チーム 青木・服部・和光

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

# スカシユリ

ユリ科ユリ属

花期：7月上旬～8月中旬

海岸の砂地にはえる多年草で、7～8月におおきなオレンジ色の花を咲かせます。上を向いて咲いている花弁が下方に向けて細くなっているため、各弁の間に隙間ができ、透けて見えることから「スカシユリ」と呼ばれています。上を向いて咲いていますが、雨が降っても水が溜まらず隙間から流れ落ちる、とても機能的な形です。

## ●ひたち海浜公園のスカシユリ

スカシユリの咲く砂丘エリアは、かつてスカシユリの群生があった場所ですが、開発や盗掘の影響でその数は激減してしまいました。当公園では残った株を守ると同時に、球根を植えて増殖、育成を行なっています。

砂丘エリアには、砂丘観察園路が設けられ、スカシユリをはじめとする海浜植物を間近に観察することができます。このエリアに育つスカシユリの多くは、草丈30cm前後で、強い風の吹く砂丘で生き抜くため、草丈を低くして適応していると考えられます。

一方、砂丘エリアから離れたところにある公園管理事務所の付近にもスカシユリは咲いていますが、砂丘エリアと比べて、草丈の高いものが多く、生育環境による違いが見受けられます。



圃場で生育中のスカシユリ



公園事務所付近に咲く背丈の高いスカシユリ



珍しい黄色のスカシユリ



当公園開園以前の砂浜に咲く姿

## 参加者大募集

### 海浜公園ネイチャーツアー「砂丘」

砂丘ガーデンや未開園地区において、スカシユリやカワラナデシコなど、砂丘に咲く植物の観察会を開催します。

- 開催日：7月24日（日）
- 時間：10時（所要2時間）
- 集合：「海浜口・風のゲート」
- 定員：先着30名（事前予約）
- 参加費：200円
- 協力：茨城生物の会

※暑いので帽子・飲み物をご持参ください。





貴重な砂丘や  
海浜植物を保全する  
公園ボランティア

## 野生植物パートナー

「スカシユリ増殖作戦！」などのイベントの参加者を中心に、平成18年1月発足しました。現在16名が登録しています。

国営ひたち海浜公園内に自生する貴重な野生植物、その生育環境および樹林地の保全・維持管理を市民の手で行うとともに、市民への啓発を行うことを目的として活動しています。特に、スカシユリの増殖については、重点的に取り組み、球根の増殖、植え付けなどを行っています。毎年10月に開催している「スカシユリ増殖作戦！」については、植物や生態の解説から行事の運営まで主体的に行っているほか、昨年度からは、砂礫ガーデンの修景のため、スカシユリ、カワラナデシコ、ハマギク等の苗の植栽をしています。

また最近では、絶滅危惧種に指定され、本公園にも自生しているハナハタザオの増殖及び苗の植え付けに取り組みはじまりました。スカシユリの増殖については、地元の阿字ヶ浦中学生がスカシユリ増殖作戦に参加したり、海浜公園で増殖した球根を阿字ヶ浦中学に贈呈するなど交流を重ねています。



平成22年11月 阿字ヶ浦中学との交流



平成22年10月「スカシユリ増殖作戦」



園外研修



平成23年6月 砂礫ガーデン植栽

### スカシユリ増殖作戦!

公園内で育てたスカシユリの球根を、みんなで植えて群落をよみがえらせましょう! 種を採取して新しい苗も育てます。ご参加いただいた方には球根をプレゼント。

- 開催日：10月（日は未定です）
- 時間：10時（所要2時間）
- 集合：「海浜口・風のゲート」
- 定員：先着30名
- 協力：野生植物パートナー





# 夏の砂丘に咲く花たち

## カワラナデシコ

ナデシコ科ナデシコ属

カワラナデシコは海浜ロケット近くの砂丘ガーデンで咲いています。

「撫子」の名が付くように、可憐な花で草丈は30~50cm程度です。葉は対生し細長く、花弁は5枚で先がひらひらと糸状に細かく切れ込んでいるのが特徴です。花言葉は「純粋な愛情」。



## カワラサイコ

バラ科キジムシロ属

草丈30~80cm、本州、四国、九州に分布し、河原や海岸付近の乾いた砂礫地に生育する多年草です。地下茎は太く直根が地中深く入ります。花期は6~8月で、砂丘ガーデンにて黄色い花を咲かせます。太い根が、薬用にされる柴胡（ミシマサイコ）に似ていて、河原に生えることから命名されています。



## ハマゴウ

クマツヅラ科ハマゴウ属

砂丘ガーデンを中心として園内各所で開花し、9月中旬頃までお楽しみいただけます。「ハマゴウ」の名の由来は、一説によると、枝葉が香りを持ち、浜辺に生育することから「浜香」となり、それが転じてこの名がついたといわれています。香りを持つ枝葉は古くは線香に用いられたとのこと。

スカシユリと  
ハマゴウ



昔の浜に群生するスカシユリ





# “オオウメガサソウ”保全シンポジウム 開催します 7/23(土)



昨年の開催の様子

当公園内の希少な植物である「オオウメガサソウ」の生育環境を保全するため、里山パートナーによる調査結果の発表や今後の保全の取り組みについての話し合いを行うシンポジウムを開催します。長年、当公園の自然環境保全に携わってくださっている鳥取大学の日置佳之先生に、里山環境の保全の重要性、当公園のあるべき自然環境の姿について基調講演をしていただきます。茨城生物の会、茨城県自然博物館の参加を得て保全活動の発展の基礎となるシンポジウムとします。ぜひご参加ください。

- 開催日：7月23日（土）
- 時 間：10時～12時
- 場 所：国営ひたち海浜公園事務所1階 多目的ホール
- 定 員：50名（事前申込）
- 参加費：無料



## オオウメガサソウ

イチヤクソウ科ウメガサソウ属 草状小低木 開花：6月中旬～下旬

北半球の冷温帯から亜寒帯を中心に分布し、日本では、北海道、青森県と国営ひたち海浜公園など、ごく限られた場所に自生しています。主に、日当たりの良いアカマツ林の林床の貧栄養な砂質土壤に地下茎を伸ばして生育し、高さ10cmほどの茎の先に、直径1cmの淡いピンク色の花を咲かせます。環境省レッドデータブックでは準絶滅危惧種、茨城県レッドデータブックでは絶滅危惧種に指定されている植物であり、国営ひたち海浜公園が世界の南限地となっています。



